

2026年10月入学

広島大学大学院人間社会科学研究科（博士課程前期）

# 学生募集要項

人文社会科学専攻

人間総合科学プログラム

◆外国人留学生特別選抜

2026年2月



広島大学

## 目 次

アドミッション・ポリシー	3
1. 募集人員及び試験場	4
2. 入試日程	4
3. 出願資格	4
4. 注意事項	5
5. 出願資格事前審査	5
6. 出願手続	5
7. 入学者選抜方法	8
8. 合格者発表	9
9. 入学手続	9
10. 出願に伴う個人情報の取扱いについて	9
11. 学生宿舎	9
12. その他	9
出願・照会先	10
令和8年度広島大学大学院人間社会科学研究科学生募集に伴う 試験成績（個人情報）の開示について	10
指導教員一覧	11

## 人間社会科学研究科アドミッション・ポリシー

### 【博士課程前期】

人間社会科学研究科では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ② 幅広い教養とともに、人文科学、社会科学や教育科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人間社会科学研究科は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

## 人文社会科学専攻アドミッション・ポリシー

### 【博士課程前期】

人文社会科学専攻では、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 幅広い教養とともに、人文科学や社会科学及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、多角的視点から「持続可能な発展を導く科学」としての平和科学の創生を目指す人
- ② 幅広い教養とともに、人文科学や社会科学、及び関連する学問領域における高度な知識と研究能力を身に付け、現在の人類社会が抱える課題、あるいは今後抱えるかもしれない課題にチャレンジすることにより、多様性を育む自由で平和な国際社会の構築に貢献しようとする意欲を持つ人

人文社会科学専攻は、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

## 人間総合科学プログラムアドミッション・ポリシー

### 【博士課程前期】

人間総合科学プログラムでは、以下のような志や意欲をもち、それに必要な基礎学力を持つ学生の入学を求める。

- ① 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず、新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造したいと思う人
- ② 輻輳する現実社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を理解するとともに課題解決の道を明らかにしたいと思う人
- ③ 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人

人間総合科学プログラムは、これらの人を受け入れるため、そのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、面接試験、学力試験、外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による入学者選抜を実施する。

2026年10月に本学大学院人間社会科学研究所（博士課程前期）人文社会科学専攻人間総合科学プログラムに入学する学生を次のとおり募集します。

## 1 募集人員及び試験場

プログラム	募集人員	試験場 出願・照会先
人間総合科学プログラム	若干名	オンライン 広島大学総合科学系支援室 〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号 TEL:082-424-6316, 6317

## 2 入試日程

入試区分	項目	期日
外国人留学生特別選抜	願書受付期間	2026年5月7日(木)～5月13日(水)
	学力検査等実施日時	2026年5月25日(月)～5月29日(金) (書類審査及びインターネット等を利用した口述試験)
	合格者発表	2026年7月1日(水)

(注意) 志願者は、必ず出願前に、志望する主指導教員と研究内容等について相談をしておいてください。

なお、志願者が指導を希望する指導教員と連絡がとれない場合には、総合科学系支援室（大学院課程担当）に連絡してください。（10ページ参照）

募集する指導教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究所ホームページに掲載しますので、相談前にあらかじめ確認しておいてください。

## 3 出願資格

日本に在住しない外国人で、次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2026年9月30日までに該当する見込みの者

1. 日本の大学を卒業した者
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令、独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等）
9. 法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの  
（他大学院へ飛び入学した学生が本研究科の受験を希望する場合）
10. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、22歳に達したもの
11. 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

## 4 注意事項

- (1) 志願者は、担当教員一覧表又は本研究科ホームページを参照し、応募する前に希望する担当教員にE-Mail か電話その他で連絡の上、希望研究内容等について相談してください。ただし、事前相談はあくまでも本研究科からの情報提供という性格のものであり、これが選考過程に影響することはありません。  
ホームページアドレス  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>
- (2) 広島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

## 5 出願資格事前審査

出願資格9～11により出願しようとする者は、事前に、総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）へ申し出た上、2026年4月15日（水）までに所定の書類を提出してください。

## 6 出願手続

1. 出願方法  
出願者は、志望する指導教員に事前に了解を得た上、以下の方法により、出願してください。

### インターネット出願

- ① インターネットにより、志望情報等を入力する。
- ② 入学検定料30,000円を支払う。
- ③ 出願書類を持参又は郵送する。

(注意) インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりません。別途、出願書類等が所定の期日までに到着するように持参又は郵送する必要があります。なお、本研究科では、持参のみによる出願はできません。

### (1) 出願期間

上記1. 出願方法 の①, ②, ③の全てを期間内に終える必要があります。

2026年5月7日（木）から2026年5月13日（水）17:00まで（必着）

(2) インターネット出願

◆システムに関する問合せ先

**インターネット出願・UCAROヘルプデスク（日本語対応のみ）**

受付時間：10:00から18:00まで

（年末年始（12月30日～1月3日）を除く）

電話番号：03-6634-6494（日本国外・IP電話からもご利用いただけます。）

○入試に関する不明点等は、総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）に問い合わせてください。

受付時間 8:30から17:00まで（土日祝日を除く）

出願期間内に、次の8つのステップを完了してください。

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



Step 2: UCAROログイン画面から「UCARO会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。

本学では、受験番号の確認及び合格した場合の入学手続の一部をUCAROで行います。UCAROについては、以下のURLを参照してください。

<https://www.ucaro.net/>

Step 3: アカウントを入力

入力前に総合科学系支援室（人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当）に問い合わせた後に、本研究科から通知する8桁以上の英数字を入力してください。

Step 4: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って、氏名、住所等を入力してください。

Step 5: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。郵送での提出はできません。

※ 出願時にアップロードされた写真は、受験時の本人確認のため使用するほか、入学後の学生証にも使用します。このため、必ず画面上の注意事項を満たした写真をアップロードしてください。

なお、写真アップロード後の差し替えはできません。

入学後に学生証の内容（写真や姓名の漢字表記）を変更する場合は、1,000 円の手数料が必要です。

Step 6: 入学検定料（30,000 円）の支払い

「決算情報を入力」の画面で、次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン, ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, デイリーヤマザキ, セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

(注意)

- ・入学検定料の他に、1回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料1,000円は、志願者負担となります。
- ・出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。

なお、次の(1)、(2)の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、「出願番号」、「ふりがな」、「氏名」、「電話番号」、「住所」、「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上、2027年2月26(金)までに総合科学系支援室(人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)に郵送してください。

ただし、いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。

- (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

#### Step 7: 出願情報の登録完了

出願番号(6桁)が表示されるので、メモしておいてください。

#### Step 8: 出願書類の持参又は郵送

提出又は送付先は、総合科学系支援室(人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)です。

出願書類を持参する場合は、出願期間の8:30から17:00まで受け付けます。ただし、土曜日、日曜日及び祭日は受け付けません。

郵送の場合は、書留とし、2026年5月13日(水)必着とします。

また、封筒表面に「大学院人間社会科学研究科人間総合科学プログラム願書在中」と朱書きしてください。

#### (3) 出願書類の提出先

(人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学系支援室(大学院課程担当) (Tel +81-82-424-6316)

#### (4) その他

- ① 出願書類受理後は、記載内容の変更は一切認めません。
- ② 出願書類は返還しません。
- ③ 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- ④ 卒業見込みで出願して合格した者が、入学日までに卒業できなかった場合、入学資格がないものとみなされます。

#### 2. 出願書類等

書類等の名称	摘 要
履 歴 書	交付の用紙を使用してください。
成 績 証 明 書	出身大学(学部)長が作成したもの。 必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。

卒業証明書又は卒業見込証明書	<p>出身大学（学部）長が作成したもの。 必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。 卒業者の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。</p> <p><b>中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学</b>を卒業(見込み)の方は、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 <a href="http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp">http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp</a>)により以下の書類を取得し、併せて提出してください。 (Web 認証が2026年5月29日(金)時点で有効であることを確認してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既卒者…学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表)</li> <li>・卒業見込み者…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告)</li> </ul> <p>なお、発行手数料は志願者が負担することとなります。 また、既卒者については、<b>卒業証明書に加えて</b>“毕业证书”及び“学士学位证书”の本紙または原本証明された写しを提出してください。</p>
研究計画書	<p>交付の用紙を使用し、具体的な研究内容について日本語又は英語で作成してください。(今まで自分が研究してきた専門分野についても記載してください。)</p>
推薦書 2通	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究機関の長によるもの1通</li> <li>2. 出願者の研究指導者によるもの1通</li> </ol>

備考：1. 提出書類のうち、外国語（日本語又は英語以外）によるものには、日本語又は英語訳を付してください。

2. TOEFL®, TOEIC®等の英語検定、又は日本語検定試験を受験した者は、その成績証明書を提出してください。

3. GRE® (Graduate Record Examinations) を受験した者は、その成績証明書を提出してください。広島大学の機関コードは2358です。

**博士課程前期については授業が日本語又は英語で行われるため、授業を聴講して理解する日本語能力又は英語能力が必要です。**

### 3. 修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等で、修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は定めません。）を提出してください。

#### ア. 相談の時期

2026年4月15日（水）まで

#### イ. 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所（連絡先電話番号も記載してください。)
- ② 出身大学名及び志望する指導教員名
- ③ 障害等の種類・程度（障害者手帳の写し又は医師の診断書を添付してください。)
- ④ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑤ 出身大学等でとられていた特別措置
- ⑥ 日常生活の状況

## 7 入学者選抜方法

成績証明書、研究計画書等の提出書類を審査し、総合評価して選考します。インターネット等を利用した口述試験を実施します。口述試験の詳細については、個別に連絡します。

## 8 合格者発表

合格発表は、2026年7月1日（水）12:00（日本時間）にメールにより、合格者に通知します。電話等による照会には応じません。

## 9 入学手続

入学料 282,000円

授業料(1期分) 267,900円

授業料(年額) 535,800円

- ① 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 上記記載の金額は2025年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定後の納付金を納入することになります。
- ③ 2026年9月の指定する期間に入学手続を行うこととなりますが、詳細については別途お知らせします。
- ④ 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難な者でかつ学業成績優秀な者又は特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。また、入学料徴収猶予の制度があります。

## 10 出願に伴う個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

## 11 学生宿舎

学生宿舎の入居者募集については、学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo>

学生宿舎についての問合せ先

広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（TEL +81-82-424-5794）

## 12 その他

広島大学は、2020年1月からキャンパス内全面禁煙となっています。

## 出願・照会先

(人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当)

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学系支援室(大学院課程担当) (Tel +81-82-424-6316)

E-mail: souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

- (1) 電話番号については、市外局番が同じ地域がありますが、東広島市以外の地域については、市外局番からダイヤルしていただく必要がありますのでご注意ください。
- (2) 気象等の影響で試験日時を変更する場合は、人間社会科学研究科ホームページで発表します。ホームページアドレス <https://www.hiroshima-u.ac.jp/gshs>

### 令和8年度広島大学大学院人間社会科学研究科学生募集に伴う 試験成績(個人情報)の開示について

1. 下表に示す、個人に関する入試情報(以下「個人情報」という。)は、令和8年度広島大学大学院人間社会科学研究科学生募集に伴う本学の受験者(以下「開示申請者」という。)に限り開示します。

項目	開示内容
試験成績	得点 試験科目別得点 評価 各試験科目等の評価(段階区分評価を含む。)

2. 試験成績(個人情報)の開示に関する手続の流れは次のとおりです。

- (1) 入試情報開示申請書を次のいずれかの方法で入手してください。
  - ① 窓口で請求してください。
  - ② 返信用封筒(本人の住所・氏名を明記し、110円分の切手を貼った定形封筒(長形3号(12cm×23.5cm))を同封し、「広島大学大学院人間社会科学研究科入試情報開示申請書請求」と明記の上、総合科学系支援室(大学院課程担当)に請求してください。
- (2) 入試情報開示申請書に必要事項を記入した後、以下の書類を同封の上、令和8(2026)年10月1日から10月31日までの間に直接又は郵送で総合科学系支援室(大学院課程担当)に申請してください。
  - ① 必要事項をすべて記入した「広島大学大学院人間社会科学研究科入試情報開示申請書」
  - ② 令和8年度広島大学大学院人間社会科学研究科受験票(コピー不可。開示の際、同封して返却します。)
  - ③ 返信用封筒(長形3号(12cm×23.5cm))に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、110円分の切手を貼ったもの。なお、開示申請者が提出した申請書等に不備があるときは、修正を求めることがあります。
- (3) 人間社会科学研究科では、入試情報開示申請書を受理した日から30日以内に、開示決定通知書を開示申請者本人へ送付します。(返信用封筒使用)

試験成績(個人情報)の開示に関する申請・問い合わせ先

人間社会科学研究科人間総合科学プログラム担当

〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学系支援室(大学院課程担当)(TEL:082-424-6317, 6316)

人間社会科学研究科人文社会科学専攻主指導教員一覧表  
Graduate School of Humanities and Social Sciences  
Division of Humanities and Social Sciences Lists of Academic Supervisors

人間総合科学プログラム Integrated Arts and Human Sciences Program

2026年2月1日現在 February 1, 2026

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
心身と言語研究プロジェクト Human Mind, Body, and Language Research Project	教授 坂田 桐子 Prof. SAKATA Kiriko	人間の集団内および集団間行動に関する研究 Social Psychology, Group Dynamics
	教授 林 光緒 Prof. HAYASHI Mitsuo	人間の睡眠と覚醒に関する研究 Sleep Psychology: Human sleep and wakefulness
	教授 関矢 寛史 Prof. SEKIYA Hiroshi	身体運動心理学 Psychology of Human Movement
	教授 長谷川 博 Prof. HASEGAWA Hiroshi	運動時における体温調節機構に関する研究 Exercise and Environmental Physiology
	教授 柴田 美紀 Prof. SHIBATA Miki	第二言語習得, 外国語学習・教育に関する研究, World Englishes, 国際語/リンガフランカとしての英語 Second language acquisition, Research on foreign language learning/education, World Englishes, English as an international language/a lingua franca
	教授 上泉 康樹 Prof. UWAIZUMI Kouki	体育哲学・スポーツ哲学(主に古代ギリシアにおけるギムナスティケー論および運動競技論, 身体論) Philosophy of physical education and philosophy of sports (focussing on thought of physical education, sports, and body in ancient Greece)
	教授 田中 亮 Prof. TANAKA Ryo	リハビリテーション科学 Rehabilitation science
	教授 山根 典子 Prof. YAMANE Noriko	音声学, 音韻論 Phonetics, Phonology
	教授 緒形 ひとみ Prof. OGATA Hitomi	スポーツ栄養, 生体リズムに関する研究 Exercise and Nutrition, Chrono-nutrition
	准教授 小川 景子 Assoc.Prof. OGAWA Keiko	覚醒時と睡眠時の認知神経科学研究 Cognitive neuroscience during wakefulness and sleep
	准教授 榎原 潤 Assoc.Prof.KASHIHARA Jun	心理ネットワークアプローチ, 精神病理研究, ステイグマ研究, 臨床心理学 Psychological Network Approach, Psychopathology Research, Stigma Research, Clinical Psychological Science
	准教授 小宮 あすか Assoc.Prof. KOMIYA Asuka	社会生態学的アプローチ, 感情と意思決定に関する研究 socio-ecological psychology, emotions in decision making
	准教授 杉浦 義典 Assoc.Prof. SUGIURA Yoshinori	不安の発生と解消に関する実験臨床心理学的研究 Psychopathology and treatment of anxiety and related disorders.
	准教授 進矢 正宏 Assoc.Prof. SHINYA Masahiro	スポーツバイオメカニクス, 姿勢制御, 運動の自動計測システム Sports biomechanics, Human motor control of posture and gait
	准教授 大嶋 広美 Assoc.Prof. OSHIMA Hiromi	中国語学, 音声学, 言語学 Chinese linguistics, phonology, linguistics
	准教授 CLENTON Jonathan Stuart Michael Assoc.Prof. Jonathan Stuart Michael CLENTON	応用言語学 Applied Linguistics
	准教授 TAFERNER Robert Horst Assoc.Prof. Robert Horst TAFERNER	語用論, 英作文, 心理言語学 Pragmatics, English Academic Writing, Psycholinguistics
准教授 北梶 陽子 Assoc.Prof. KITAKAJI Yoko	ヒトの協力行動, シミュレーション&ゲーミング Human Cooperation, Simulation and Gaming	
准教授 KONG GARRY Ka Fai Assoc.Prof. Ka Fai KONG GARRY	認知心理学, 注意, ワーキングメモリ Cognitive Psychology, Attention, Working Memory	
助教 川上 夏林 Assist. Prof. KAWAKAMI Carine	フランス語学 French Linguistics, 認知言語学 Cognitive Linguistics	

【注1】\*印を付した教員は、2026年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*, are retiring in March of 2026.

\*\*印を付した教員は、2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*\*, are retiring in March of 2027.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that "Lists of Academic Supervisors" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
地域と文化研究プロジェクト Area and Culture Research Project	教授 桑島 秀樹 Prof. KUWAJIMA Hideki	美学芸術学, 感性哲学, 感性文化史, 文化創造論, 風景美学, 18世紀アイルランド・イギリス思想史 Aesthetics, History of KANSEI-Culture, Landscape Aesthetics, 18th Century Irish and British History of Thought
	教授 関村 誠 Prof. SEKIMURA Makoto	文化哲学, 芸術哲学, 感性論, 古代ギリシアの思想 Philosophy of Culture, Philosophy of Art, Aesthetics, Ancient Greek Thought
	教授 荒見 泰史 Prof. ARAMI Hiroshi	中国古代文献研究, 敦煌仏教文学 ancient Chinese manuscripts, Dunhuang Buddhist literature
	*教授 長田 浩彰 *Prof. NAGATA Hiroaki	ドイツユダヤ現代史, とくにナチ第三帝国下のユダヤ人の動向 German Jewish Contemporary History, especially Jewish Responses in the Third Reich
	教授 丸田 孝志 Prof. MARUTA Takashi	近代中国における民俗の変遷と文化的国民統合 Folklore transition and Cultural National Integration in Modern China
	*教授 小池 聖一 *Prof. KOIKE Seiichi	日本現代史, 政治史・外交史, アーカイブズ学 Japanese modern history, Political and Diplomatic history, Archives
	教授 城戸 光世 Prof. KIDO Mitsuyo	19世紀アメリカ文学および文化研究 19th Century American Literature and Culture
	教授 柳瀬 善治 Prof. YANASE Yoshiharu	日本近代文学, 文学理論 japanese modern literature, literature theory
	准教授 RIGSBY Curtis Andrew Assoc.Prof. Curtis Andrew RIGSBY	日本の宗教・日本の文化, 哲学, 比較思想 Japanese Religion・Japanese Culture・Comparative Thought and Philosophy
	准教授 辻 輝之 Assoc.Prof. TSUJI Teruyuki	文化人類学・社会学(宗教, 移民・ディアスポラ, 人種・エスニシティ), 地域研究(カリブ海地域, 米国) Anthropology/Sociology (Religion, Immigration & Diaspora, Race & Ethnicity); Area Studies (Caribbean Studies and American Studies)
	准教授 崔 真碩 Assoc.Prof. CHE Jinsoku	朝鮮文化論, 朝鮮近代文学, 在日朝鮮人文学 Korean culture theory, Korean modern literature, Korean resident in Japan literature
	准教授 李 郁恵 Assoc.Prof. LEE Yuhui	中国語圏の地域研究, 東アジアの日本語文学 Chinese-speaking area studies, Japanese language literature in East Asia
	准教授 渡邊 誠 Assoc.Prof. WATANABE Makoto	日本古代史, 東アジア交流史 Japanese ancient history, History of cultural exchange in East Asia
	准教授 春日 あゆか Assoc.Prof. KASUGA Ayuka	近代イギリス社会・文化史, 環境史 British modern social and cultural history, environmental history
	准教授 的場 いづみ Assoc.Prof. MATOBA Izumi	現代の文学作品・視覚作品を中心としたアメリカ文化研究 Studies in 20th and 21st Century American Literature and Visual Arts
	准教授 河合 信晴 Assoc.Prof. KAWAI Nobuharu	戦後ドイツ政治社会史, 東ドイツ研究, 日常生活と政治 Social History of Germany in the Postwar, East German Study, Daily Life and Politics
准教授 澤井 努 Assoc.Prof. SAWAI Tsutomu	哲学的生命倫理学, 経験的生命倫理学, 生命科学・医療の倫理的・法的・社会的課題, 生命倫理と宗教 Philosophical Bioethics, Empirical Bioethics, Ethical, Legal and Social Issues of Life Sciences and Health Care, Bioethics and Religion	
准教授 貝賀 早希子 Assoc.Prof. KAIGA Sakiko	近現代国際関係史, 国際連盟 Modern International History, the League of Nations	
准教授 島村 修平 Assoc.Prof. SHIMAMURA Shuhei	言語哲学, 心の哲学, 行為論, 論理学の哲学 Philosophy of Language, Philosophy of Mind, Philosophy of Action, Philosophical Logic	
准教授 横山 尊 Assoc.Prof. YOKOYAMA Takashi	日本近現代史, 知識の政治社会史, とくに優生学, 禁酒運動の歴史 Modern Japanese history, the socio-political history of knowledge, with a particular focus on the history of eugenics and the temperance movement	

【注1】\*印を付した教員は、2026年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*, are retiring in March of 2026.

\*\*印を付した教員は、2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*\*, are retiring in March of 2027.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that "Lists of Academic Supervisors" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

プロジェクト Project	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
文明と環境研究プロジェクト Civilization and Societal Environment Research Project	教授 浅野 敏久 Prof. ASANO Toshihisa	人文地理学, 環境運動の地域論・場所論, エコミュージアム研究 Human Geography, Studies on Environmental movement, Eco-museology
	*教授 FUNCK Carolin E.H. *Prof. Carolin E.H. FUNCK	人文地理学, 観光学, 持続可能な観光開発 Human Geography, Tourism Studies, Sustainable Tourism Development
	教授 辻 学 Prof. TSUJI Manabu	西洋文明の思想的基盤としての新約聖書研究 Study of the New Testament as basis for Western thought and civilization
	教授 長坂 格 Prof. NAGASAKA Itaru	人の移動に関する文化人類学的研究およびフィリピン地域研究 Cultural anthropology, Migration studies, Philippine Studies
	教授 青木 利夫 Prof. AOKI Toshio	メキシコの教育・文化史, ラテンアメリカ近現代史 Social History of Culture and Education in Mexico, Latin-American History
	*教授 平手 友彦 *Prof. HIRATE Tomohiko	ルネサンス期のフランス・イタリア文学と文化史, 出版文化論 Civilization in France and Italy Renaissance, History of books
	教授 大池 真知子 Prof. OOIKE Machiko	アフリカの文学, ジェンダー学 African literature, gender studies
	教授 関 恒樹 Prof. SEKI Koki	文化人類学(途上国の社会開発, 社会政策, 福祉) Cultural Anthropology (Social Development, Social Policy and Welfare in Developing Countries)
	教授 杉木 恒彦 Prof. SUGIKI Tsunehiko	インド・ネパール仏教(大乘・密教)研究, 比較宗教学 Indian and Nepali Buddhism (Mahayana and Vajrayana), Comparative Religion.
	教授 西 真如 Prof. NISHI Makoto	医療人類学, グローバルヘルス Medical Anthropology, Global Health
	准教授 匹田 篤 Assoc.Prof. HIKITA Atsushi	社会情報学, メディア論, 博物館コミュニケーション Socio-Informatics, Media Studies, Museum Communications
	准教授 福田 恵 Assoc.Prof. FUKUDA Satoshi	農村社会学, 森林と山村の社会史, 農村環境社会学 Rural Sociology, Social History, Environmental Sociology
	*准教授 李 東碩 *Assoc.Prof. LEE Dong-Suk	世界経済体制の解明, グローバル・マイノリティ学の構築 The Study of Global Minority Community on World Economic System
	准教授 池端 露子 Assoc.Prof. IKEHATA Fukiko	中東地域研究, イスラーム世界論, 宗教の国際政治学 Area Studies on the Middle East, Studies on the Islamic World, Religion and International Politics
	准教授 河本 尚枝 Assoc.Prof. KAWAMOTO Naoe	留学生教育, 在日外国人問題, 日本語教育 Foreign minority issues, International students education, JFL (Japanese as a foreign language)
	准教授 白川 俊之 Assoc.Prof. SHIRAKAWA Toshiyuki	調査計量を用いた社会的不平等の生成・維持メカニズムの研究 Methodology of quantitative social research, social stratification and social mobility
	准教授 園井 ゆり Assoc.Prof. SONOI Yuri	家族社会学, 福祉社会学 The Sociology of the Family, The Sociology of Welfare
	*准教授 山崎 修嗣 *Assoc.Prof. YAMAZAKI Shuji	自動車工業研究, 産業論, 企業論, 経済政策, 経営・経済史 Auto Industry, Business, and Industrial Theory Economic Policy
	**准教授 SCHLARB Hans-Michael **Assoc.Prof. Hans-Michael SCHLARB	近代ドイツ文学を中心とした思想史・社会史 Modern German Literature
	准教授 中尾 麻伊香 Assoc.Prof. NAKAO Maika	科学史, 核をめぐる文化 History of Science, Nuclear Culture
	准教授 張 慶在 Assoc.Prof. JANG Kyungjae	観光学, コンテンツ・ツーリズム Tourism Studies, Contents Tourism
	准教授 中澤 聡 Assoc.Prof. NAKAZAWA Satoshi	オランダの科学技術史, 治水史 History of Science, Technology and Water Management in the Netherlands
	准教授 申 在烈 Assoc.Prof. SHIN, Jaeyoul	産業・労働社会学(特に, 自営業・非典型雇用, プラットフォーム労働, 労働所得), 社会不平等論, 社会意識・態度論, The sociology of labor market, work, and industry(with focus on self-employment/non-standard employment, platform work, labor income), The sociology of social inequality, Social consciousness and attitudes
	准教授 川島 尚宗 Assoc.Prof. KAWASHIMA Takamune	博物館学, 先史考古学 Museology, Prehistoric Archaeology
准教授 清水 則雄 Assoc.Prof. SHIMIZU Norio	博物館学, 動物生態学, 保全生物学, オオサンショウウオ, エコミュージアム Museology, Animal Ecology, Conservation Biology, Giant Salamander, Ecomuseum	
助教 ZOLLET Simona Assist. Prof. ZOLLET Simona	サステナブルな農業とフードシステム, 農村社会学, 地方創生 Sustainable agriculture and food systems, rural sociology, regional revitalization	

【注1】\*印を付した教員は、2026年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*, are retiring in March of 2026.

\*\*印を付した教員は、2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*\*, are retiring in March of 2027.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that "Lists of Academic Supervisors" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.

以下の教員は、複数のプログラムを担当しており、次表のプログラムのほかに本プログラムも担当しています。  
Supervisor below in charge of plural programs takes charge of the program in the following table, including this program.

研究科 Graduate School	職名・氏名 Position・Name	専門分野 Research Theme
統合生命科学 研究科 Graduate School of Integrated Sciences for Life	教授 山田 俊弘 Prof. YAMADA Toshihiro	生態学を基礎とした生物を保全する研究 Conservation of organisms based on ecology
	*教授 中坪 孝之 *Prof. NAKATSUBO Takayuki	陸域生態系における植物・動物・微生物の役割 Roles of plants, animals and microorganisms in terrestrial ecosystems
	教授 石原 康宏 Prof. ISHIHARA Yasuhiro	大気汚染微粒子 (PM2.5) の生体影響の解明 Effects of airborne particles (PM2.5) on living organism
	**准教授 土谷 彰男 **Assoc.Prof. TSUCHIYA Akio	アマゾン熱帯林の消失による気候変化 Climate change caused by deforestation of rainforests in Amazonia
	講師 戸田 求 Lecturer TODA Motomu	森林生態系のエネルギー・炭素循環 Energy, water and carbon exchange between atmosphere and forest ecosystems
先進理工系 科学研究科 Graduate School of Advanced Science and Engineering	教授 小野寺 真一 Prof. ONODERA Shinichi	地球表層物質移動論 (水文地形学および生物地球化学) Hydrologic transport of earth surface materials: hydrogeomorphology and biogeochemistry
	教授 近堂 徹 Prof. KONDO Toru	インターネットアーキテクチャ, リアルタイム映像伝送技術, ネットワークセキュリティ, ネットワーク管理, 遠隔機器制御, 情報通信工学, 統計的成長模型, 教育と学習を支援する情報システム Internet architecture, real-time video transmission technology, network security, network management, remote appliance control, information communication engineering, statistical growth model, information system supporting education and learning
	教授 横山 正 Prof. YOKOYAMA Tadashi	岩石風化に関する反応と物質輸送 Reaction and transport relevant to rock weathering
	准教授 小澤 久 Assoc.Prof. OZAWA Hisashi	地球の気候と流体系の熱力学, 非平衡系の散逸構造 Thermodynamics of the global climate and fluid systems, dissipative structures of non-equilibrium systems

【注1】\*印を付した教員は、2026年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*, are retiring in March of 2026.

\*\*印を付した教員は、2027年3月末までに退職等の予定です。The faculty members with asterisks attached; \*\*, are retiring in March of 2027.

【注2】表に記載の教員が異動等により変更になることがあります。その場合には、人間社会科学研究科ホームページに掲載します。

Note that "Lists of Academic Supervisors" is subject to change due to personnel changes. In this case, you will be informed via the HP of Graduate School of Humanities and Social Sciences.